

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2013年5月21日

No.19

「信義誠実」に反する行為を認め、会社謝罪！

賃金削減計画は断固反対、撤回せよ！

《申第12号「信義誠実の原則を逸脱する行為等に対する申し入れ」団体交渉報告》

1. 労使協議の重要性に対する会社の認識を糾す

組合：4月26日に申し入れを行い、団体交渉開催が5月20日である。労働組合の申し入れを軽視している、改めよ。

会社：故意に交渉日を遅らせたわけではない。日程調整を行った結果、本日の開催となった。

組合：今回だけに限らない。様々な労使協議に対しての会社側の信義誠実に欠ける言動についてこの間指摘してきた。今回の人件費削減策について、会社は労働組合を無視して進める姿勢か。

会社：労使間の協議を経なければ実施できるものではないことは充分認識している。今後、真摯に議論を行っていく。

2. 「信義誠実の原則」を逸脱した行為をただし、謝罪！

組合：一切の労使協議を行っていないにも拘らず、あたかも貨物労組が人件費削減を受け入れたかのような内容が経営陣から流布した。また一部の組合がそのことをビラや情報で流している。これらに対する会社のしかるべき対応を求める。

会社：組合が認めているかのように流布していることについて遺憾に思っている。

組合：「遺憾」とは、上から下に見下す場合の言葉である。そのような経営陣の姿勢が問題であることを指摘しておく。どの様に対応したのか。

会社：本社・支社内に対し労使協議は一切行っていないことを改めて周知した。今回、組合からの指摘で認識した次第であり、申し訳なく思う。謝罪する。今後、指摘の事項に対応していく。

3. 平成25年度事業計画は大幅な人件費削減が計画されており反対である。計画を撤回せよ！

会社：撤回は出来ない。皆様の理解を頂けるよう努力して行きたい。

組合：人件費削減を出されて何故理解できるのか。会社のその場しのぎの計画に組合員の将来は預けられない。撤回を申し入れる。

会社：撤回とは言えない。理解を頂くための具体的内容は、今後明らかにして行きたい。

組合：言葉だけの「厳しさ」は足りない。経営姿勢は未だ変わっていないと認識している。人件費で誤魔化す事は断じて認めない。何度も言うが撤回を申し入れる。真摯に受け入れよ。

会社：組合の主張は受け止める。

経営改革を断行し、平成25年度事業計画（人件費削減計画撤回）を、組合員の将来を保障する計画に改めよ！ 中央本部は賃金削減計画の撤回に向けて継続的に交渉を積み上げていきます。

以上